

県政百年記念式典



新しい郷土建設に決意新た 県政百年記念式典開催

ワイドの県

明治5年岩手県が発足してから、今年ちょうど100年である。この意義ある年にあたり今日、岩手を築いた幾多の先人の業績をしのび感謝するとともに、きたる世紀へ躍進の決意を新たにするため県政100年記念式典が、11月11日県公会堂で開催された。

式典では、開会につき、まず、君が代演奏が行なわれ、県政100年の歩み朗読のあと、先人をしのび黙とうがささげられた。千田県

知事の式辞では「過去100年間の県政の歴史と先人の業績をしのび、その遺訓を体し、新しい郷土の建設に向かって力強く前進する」と決意が表明され、ひきつづき、地方自治、産業振興、社会福祉、環境衛生、教育学芸文化、交通安全、防犯の各分野で功績のあった、41人、5団体が表彰された。来賓祝辞のあと被表彰者代表の謝辞があり、盛岡市内女子高校生の記念上演が行なわれ、閉会となった。

今日、わが国は、明治維新にも匹敵する激動の時を迎えているといえよう。本県もまた高速時代の到来でもみられるように、激しくその時を迎えているといえよう。この時にあたり、我々は、郷土岩手を誤ることなく次代に引きつづき責務が課せられていると思われる。岩手2世紀のスタートにあたり、この認識を新たにしなければならない。